

地域福祉の頼れる サポート役に

段林 繁理事(二宮町生栖)



自治会別懇談会で感じた事です。地域力を高めるには、それぞれが日常生活の行動確認をする事が大切です。そして、限りある予算の執行について、更に透明化を心掛けます。社協は『地域福祉の頼れるサポート役』を目指します。

支え合いの 福祉力に気づく

田路壽子理事(二宮町三方町)



福祉の町づくりは、地域住民が支え合いの福祉力に「気づく」ことから始まります。自治会別懇談会は、いろんなことに気づく大切な場であったと感じます。機会あることに人の集う場に参加することも大切な地域づくりの二歩です。

公共交通としての 移送サービス充実へ

森本都規夫理事(波賀町谷)



要介護や障がいのある方のための移送サービス。利用者にとって更に使いやすいサービス提供を検討します。また、路線バス休止により、不便になった地域に、行政主導の公共交通を社協として働きかける必要性を感じています。

2010年の 地域福祉

2009年8月の台風9号豪雨災害で
協議会の役割が再認識されまし
新しい年のスタートにあたり15名

気配り思いやりの心を

植田美代子理事(波賀町野尻)



社協合併5年目。「六栗市社協はひとつ」でも様々な地域差があるように思います。誰もが社協の業務をよくよく理解し、身近な事から気配り思いやりの心で、お互いに支え合いながら地域力を生かし、過疎高齢化を克服したいものです。

地域福祉は地域をつくる

金本幹雄理事(千種町鷹巣)



昨年の台風9号豪雨による山崩れで親族が被害を受けました。この時、地域福祉の重要性「いち早く現場に赴く、言葉をかけて励まし、協働と支え合いを発揮して、地域をつくる」を再認識しました。地域の皆様に深く感謝します。

「私にできる事」から 始めませんか

山本康子理事(千種町下河野)



7月に初めて理事となり、六栗市社協の活動内容とパワー、前向きで笑顔の職員のがんばりに驚きました。地域福祉は善意と思いやりに支えられている事も強く感じました。「私にできる事」から最初の一步を踏み出してみませんか。

イキイキ生活は 支え合い活動から

平岡千恵子理事(山崎町高下)



時間はあるが、どんな活動をすれば役に立てるのか?と考えている人にお願ひします。近所の方のお手伝い、道路河川の清掃、ふれあい活動等。実際に活動してみると、すがすがしい気分になるから不思議です。ぜひお願ひします。

ボランティアの 輪を広げよう

広本栄三理事(市健康福祉部次長)



台風で被災された方から「社協の災害ボランティアに頑張る勇気をいただき、今度は私も何か手助けしたい」との声を聞き、心が熱くなりました。助け合いの輪を広げる社協活動に多くの方の参加ともう少しの支援をお願ひします。